

銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和8年9月8日(火)

令和8年9月8日(火)付南日本新聞に「ラッピングバス」についての記事が掲載されましたので、紹介します。

薩摩中央高校の魅力をもPRするラッピングバスの出発式が3日、さつま町の同校であった。上野俊市町長や久保美和子校長、バス会社の担当者、生徒らが出席して運行を祝った。各種団体でつくる「薩摩中央高校振興対策協議会」が、入学者増につなげようと企画した。運行するバスは鹿児島交通、JR九州バス、南国交通、神園サービスの4社。車体には「まちを舞台に学べる」「夢が見つかる できるが増える」「この町ぜんぶが、僕らの教室」などの文字を大書し

薩摩中央高の魅力満載 振興協がラッピングバス

さつま



入学者増を目指して運行するラッピングバス
＝さつま町の薩摩中央高校

ている。北薩や鹿児島空港、鹿児島市などの路線を走る。運行は3年間。同校はさつま町にある唯一の高校で、普通、生物生産、農業工学、福祉の4科がある。1日現在、210人が在籍しているが、近年は少子化の影響で生徒数が減少している。久保校長は出発式で「(バス運行を)うれしく、誇らしく思う。本校の教育の質はどこにも負けないと確信している。もっと多くの人に学校の魅力を伝えたい」とあいさつした。

(中島裕一郎)